事務職員等の
人材育成方針について

公立鳥取環境大学

R7年時点

はじめに

公立鳥取環境大学では、基本理念である『人と社会と自然との共生』を実現していくため、より一層の大学の質向上をはかるとともに、豊かな人間性にあふれ、環境問題や経営についての幅広い知識・高いコミュニケーション能力を備え、自ら考え行動し、力強く生きる人材を育成しています。

また、持続的な社会の発展を目指し、地域の自然環境や人と人との繋がりを大切にするローカルな視点を持ちながら、自然環境の保全と人類の持続可能な経済発展の両面にわたりグローバルな視点もあわせ持つ、バランス感覚に優れ、地域を担う人材を育成しています。

その中で事務職員は、学生や教員の教育・研究支援だけでなく、地域連携や広報・大学運営に関する多種多様な業務を行い、魅力ある大学づくりを目指しています。

理想とする職員像

1　建学の理念に沿った学生の成長を教員と協働して支援するとともに、自らの成長に努力する職員。
2　グローバルで広い視野を持つとともに、公立大学の職員であることを自覚し、地域社会への貢献を意識する職員。
3　豊かな人間性や幅広い教養を身に着けるため常に勉強するとともに、従事する分野の専門的知識・技術を身に着ける努力を怠らない職員。
4　多彩でバランスのとれた能力をもつ職員。
　思考力、調整力、企画力、課題発見・解決能力、判断力、提案力、実践力（行動力）、発信力、未来を見据える力、人材を育成できる力、変化へ対応できる力
5　大学人・組織人として互いを尊重し、異なる意見も傾聴に努め、円滑なコミュニケーションができる職員。
6　責任感が強く公平で誰からも信頼される職員。
7　業務の遂行においては正確性や柔軟性、行動力があり着実な大学運営を担える職員。

採用後の育成方針

1　多様な研修

事務職員が業務に必要なスキルを身に着けるため、公立大学協会や鳥取県など他機関の研修に参加しています。また、学内でほぼ月例的に研修を実施し、大学の運営に関する知識習得や意識の啓発を行っています。

2　定期的な面談の実施

毎年定期的に所属長面談を実施しています。職員一人ひとりが自己の業務の目標を明確にし、能力を向上させるため、面談シートを用いるなどしています。

キャリアパスイメージ

担当職員

基礎的な実務知識を持ち独力で行うとともに、ある程度判断力や折衝力を要する業務についても、具体的な指示を受けながら正確・迅速に遂行します

上席担当職員

高度な知識を持ち、高度な業務処理を的確に行うとともに、事務職員のリーダーとして他の職員に的確な指導・助言を行います

20～30代の職員

監督職員

大学業務全般について広範かつ高度な知識を持ち、担当業務についての企画立案・推進を行うとともに、部下の指導・監督を積極的に行い、担当業務を円滑に運営・統括します

所属長

大学業務全般について広範かつ高度な知識を持ち、所属部署の業務全般を管理統括するとともに、部下の指導・教育を計画的に行い、所属部署の中核となって業務運営します

※ 目安のため、個人差があります。

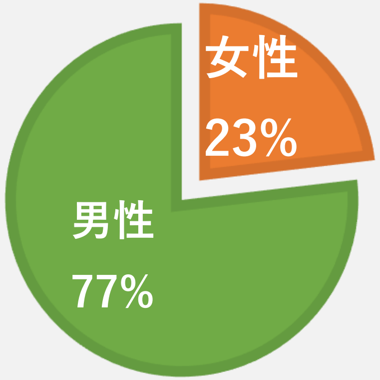
R7年時点の情報です。

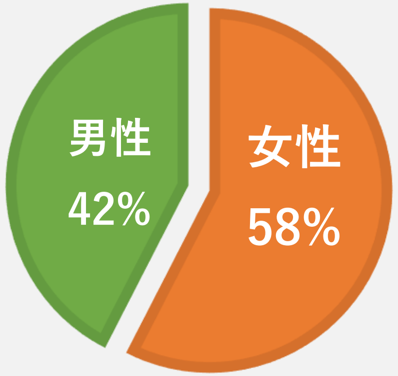
環境大の魅力

多様性（ダイバーシティ）の尊重

女性教職員の積極的な採用

【教員】
※非常勤講師含む





【職員】
※非常勤、嘱託職員含む

ワークライフバランスの実現に向けた支援

■ 過去３年育児休業取得率・・・男性：１００%、女性：１００%

■ 介護・ヤングケアラーにかかる相談窓口を設置しています。

■年次有給休暇平均取得日数は１３日、平均取得率は６３.３%です。

環境大の魅力

静かな自然の中で、のびのび働ける職場環境

小規模組織ゆえに、幅広い業務に携わることができる
→多様な業務を通じてスキルの幅が広がり、ゼネラリストとしての成長

緑が多く、自然豊かで落ち着くキャンパス

規模が大きすぎない大学ならではの、
学生・教職員間の距離の近さ